

歯科衛生士コーナー

魅力あるポスター発表をしよう。

日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 副委員長
朝日大学歯学部口腔感染医療学講座歯周病学分野
澁谷 俊昭

はじめに

症例のポスター発表は口頭発表や雑誌への症例報告書とは異なり、多くの人の目に留まること、参加者との直接対話ができること、発表によりさらに内容や表現方法などを改善できることが有利な点です。発表を計画したら担当機関への連絡(多くの場合は演題と所属の連絡)、抄録作成、ポスター作製、ポスターの掲示、ポスター発表の順序で進んでいきます。参加者(お客様)にいかに関心を持って自分の症例を理解してもらい、適切な評価をしてもらうためには十分な情報と周到な準備が求められます。また歯科衛生士としての症例に対する関わりが見える発表でなければなりません。ポスター発表の順序に沿って紹介してみたいと思います。

抄録の作り方

ポスター発表する前には抄録を作る必要があります。日本歯周病学会学術大会においては各開催担当機関によって若干の違いはあるものの、概ね以下の順序で記載を求められます。発表演題名、代表発表者名、共同発表者名、所属、概要(はじめに)、初診時の状況(年齢、性別、主訴、現病歴、既往歴、その他特記事項)、検査、検査所見、診断名、治療計画、治療経過、考察(まとめ)の順に記載します。各学会によって書式や文字数、使用するソフトが異なります。抄録記載要領をよく読んで執筆にとりかかることが重要です。多くの場合、抄録集では紙面は限られており、口腔内写真やエックス線写真や詳細な検査結果は添付することは困難なため、症状、検査結果、治療結果などの理解を得られるような文章で表現しなければなりません。ポスター発表では参加者は事前に発表抄録を読んで興味を持ってこられる人が多数おられます。そのような参加者の興味を引くためには十分に内容が文面から理解で

きるような抄録が求められます。単に治療後の改善が見られたのみでなく、どうやってあるいはどうして処置をしたのか。患者さんとのコミュニケーションをどのような手法で行ったのか。口腔内処置に関与して患者の全身的または習慣などへの関与はあったのか。このような歯科衛生士の役割が症例中でどのように影響したのかを強調することが重要です。

ポスターの作り方

1. まず、担当機関によるポスターのサイズを確認します。サイズによって縦長のポスターか横長のポスターかがわかります。さらに文字の大きさや写真、図表の大きさを概算します。演題名や図表の配置や説明文などをブロックにして縮小サイズに並べて検討します。
2. 一枚の大型プリンターを使ったポスターの作成には Adobe Illustrator®などのソフトを用いると便利です。また A4 や B5 のサイズのブロックを多数貼り付ける方法があります。どちらの方法でも参加者が見やすければ良いポスターといえるでしょう。
3. 文字サイズは参加者(お客様)が 2~3m 離れた場所から容易に判読できるように設定しなければなりません。フォントはゴシック系が明朝体よりもポスターには適していると思われます。とくに演題名は参加者が最も目にするブロックであるため、できるだけ読みやすいフォント、文字サイズ、太字や目立ちやすい工夫を行うことが勧められます。
4. 臨床データは数値の文字サイズが小さくなりやすいので、気をつける必要があります。術前、術後のデータの比較が判別しやすくする工夫が必要です。
5. 口腔内写真は何よりもまずフォーカスが重要です。最近ではデジタルカメラでの撮影が多いため撮影直後にフォーカスのチェックをしておくべきです。また、ポスターに貼付する写真はすべての写真の大

図1

例：(日本歯周病学会第52回春季学術大会 歯科衛生士・コメディカル症例発表 口演・ポスター 抄録原稿の執筆要領より改変)

歯科衛生士・コメディカル症例発表 口演・ポスター 抄録原稿の執筆要領

1. 演題登録にあたっての注意
 - 1) 原稿はMS-Wordで作成し、WordおよびPDFの両ファイルをアップロードしてください。
 - 2) PDFに変換後、原稿の執筆要領の通りになっているか、また、内容を再チェックしてください。
 - 3) 書式が守られていない原稿は、掲載されないのでありますので留意してください。
 - 4) 組見本を参考にしてください。
 - 5) 登録用のテンプレートを用意しておりますので御使用下さい。
2. 原稿の執筆要領(MSワード)
 - 1) 書体と文字の大きさ
 1. 書体(フォント)はMS明朝、アルファベットおよび数字はCenturyで文字の大きさ(フォントサイズ)は全て7.5ポイントが基本となります。MS P明朝の書体は使用しないで下さい。
 2. ヘッダー部分は和文のタイトルと発表者氏名のみをご記入下さい。
共同発表者、所属および英文の表記はプログラムにのみ表示されますのでヘッダーには記入しないで下さい。そのため、演題登録画面は正確にご記入下さい。
 - 2) 字数、行数と文字揃え
 1. 字数：1行29字
 2. 抄録行数：25行(キーワード1行含む、総文字数725字)。
 3. 文字揃え：タイトルは頭揃えで、氏名は右揃えです。
 - 3) キーワードを3語程度ご記入下さい。
 - 4) 抄録本文は原則として【はじめに】【初診】【診査・検査所見】【診断】【治療計画】【治療経過】【考察・まとめ】の順に項目を設け項目ごとに行を改めて記載してください。
 - 5) カタカナは全角、アルファベットおよび数字は半角で入力してください。
 - 6) 和文は「,」「。」を使用してください。

きさや色調を調整して統一しておくことが望まれます。また印刷には光沢紙や写真専用の用紙に高品質でプリントアウトしましょう。写真においても初診時とSPT時の比較などが左右で比較しやすくしてあれば参加者に理解しやすいものと思われます。

6. 治療計画や治療経過は列記したり、フローチャートにすると見やすいと思われます。
7. 考察には自信が衛生士としていかに本症例に関与したのかを強くアピールするよう努めることが必要です。また、エビデンスとしての引用文献や説明文を記載しておくこともすすめられます。

一般的なポスターを示します。図2-1, 2参照

ポスターの質を吟味するためのチェックリストを以下に示します。チェックリストは、ポスターの出来栄を評価し、改善するためのものです。ポスターを公開する前に、全ての関係者と、可能な場合には外部の第三者とが、ポスターの出来栄について評価すべきです。

- ポスターの大きさは所定の大きさになっているか？
- ポスターの内容は、一般的な参加者の興味を惹くものになっているか？
- ポスターは、注意を引き付けるようなものになっているか？
- ポスターの主要な部分を、3mの距離から読み取ることが可能になっているか？
- 文章の内容は十分に推敲されているか？
- 文章の前後のつながりは滑らかになっているか？
- 文章の論理は適切なものになっているか？
- 写真は明瞭で色調は統一されているか
- 図表は初診時と再評価時など統一され見やすくできているか。
- 治療経過と写真やエックス線写真が一致するか？
- 歯科衛生士の関与が強調されているか？
- 症例を通じて歯科衛生士としての役割を考察しているか？
- 担当歯科医の症例発表になってはいないか？
- 見てわかるポスターとなっているか？
- 自信をもって発表できるポスターとなっているか？

演題番号	演題
発表者名	所属
【はじめに】	【治療における留意点】
【初診】 患者：○×△、年齢、性別 主訴： 源病歴： 既往歴：	  図の説明
【診査・検査所見】	  図の説明
【診断名】	  図の説明
【治療計画】	【まとめ・考察】
1. 2. 3. 4.	
【治療経過】	
1. 2. 3. 4.	

図 2-1

演題番号	演題
発表者名	所属
【はじめに】	【治療計画】
【初診】 患者：○×△、年齢、性別 主訴： 源病歴： 既往歴：	1. 2. 3. 4.
【診査・検査所見】	【治療経過】
【診断名】	1. 2. 3. 4.
【治療計画】	【治療における留意点】
1. 2. 3. 4.	
【治療経過】	【診査・検査所見】
1. 2. 3. 4.	
【まとめ・考察】	【まとめ・考察】
リスクファクターへの インターベンションなど	

図 2-2

ポスター発表での注意点

ポスターは、ポスター発表の時間として設定されている時間帯よりも長いあいだ掲示してあります。参加者(お客様)の多くは発表者がいない時に下見をして、概ねの内容を理解していることが多いです。発表時間は同時にスタートすることが多いので自分の発表に集まったお客様に対しては3~5m先のお客様にも聞き取れるように大きな声で話すようにしましょう。発表時間内でおわるように内容や進行をよく吟味し、簡潔かつ強調する点には時間を割くように工夫をするべきです。一本調子で話すとなりが重要なかを強調できません。とくに症例においての自分の関わりや患者とのコミュニケーションなど歯科衛生士の役割は是非強調して欲しい部分です。同僚や共同発表者と十分に練習しておくことが重要です。発表後の質問にも的確に回答できるよう想定質問に対する回答を事前に考えて練習しておきましょう。しかし時には難しい質問や意地悪な質問のある時もありますが、解りかねる

事や知らないことは謙虚に「今度調べておきますとか十分理解していません。」ですむのではないのでしょうか。完全な演者は減多にいるものではありません。反対に良いサジェスションをくれるお客様もたくさんいます。そこで褒められることや共感を得られる討論も大いに期待できます。必ず自分のためになる経験だと思えます。とにかく発表を楽しむくらいの気持ちで臨んでもらいたいものです。

まとめ

自分の症例への評価や指摘を謙虚に受け、さらに次回はより良い発表にしようと考えれば、認定衛生士としてさらに実力があがっていくものと思います。まずは勇気を出して学会や研究会で発表してみましょう。傍観者から主役になる気分を味わってください。また参加者へのお願いですが、発表者を責めたり、窮地に置くような質問は良い質問ではありません。もし的確な返答がない場合はよいサジェスションを与えてあげ

